平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月30日

上場会社名　鈴与シンワート株式会社　　上場取引所　東
コード番号　9360　URL　http://www.shinwart.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 成岡　謹之輔
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役　(氏名) 佐津川　吉秀　TEL 03-5440-2800

四半期報告書提出予定日　平成25年2月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	7,607	7.7	155	△15.2	159	△1.3	71	47.6
24年3月期第3四半期	7,064	8.6	182	△10.7	161	△15.7	48	△56.1

(注) 包括利益　25年3月期第3四半期　70百万円　(70.8%)　24年3月期第3四半期　41百万円　(△60.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	5.06	―
24年3月期第3四半期	3.39	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	8,223	1,715	20.9	120.68
24年3月期	7,635	1,680	22.0	118.20

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　1,715百万円　24年3月期　1,680百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	―	―	2.50	2.50
25年3月期	―	―	―		
25年3月期(予想)				2.50	2.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,804	11.2	397	10.3	377	21.2	176	46.7	12.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無
新規 ―社 （社名） 、 除外 ―社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 有
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	14,500,000 株	24年3月期	14,500,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	284,293 株	24年3月期	283,893 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	14,216,067 株	24年3月期3Q	14,375,107 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当第3四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し業績予想の見直しを行った結果、平成24年10月30日公表の予想から大きな変動はないものの、売上高は97百万円増（前回公表比0.9%増）、営業利益は21百万円増（前回公表比5.6%増）、経常利益は31百万円増（前回公表比9.0%増）、当期純利益2百万円増（前回公表比1.4%増）と変更しております。

なお、連結業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○目　次

１．当四半期決算に関する定性的情報　・・・・・・・・・・・・・・・２
(1)　連結経営成績に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・２
(2)　連結財政状態に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・２
(3)　連結業績予想に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・３
２．サマリー情報（その他）に関する事項・・・・・・・・・・・・・３
(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動・・・・・３
(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用・・・・・３
(3)　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示・・・・３
３．四半期連結財務諸表　・・・・・・・・・・・・・・・４
(1)　四半期連結貸借対照表　・・・・・・・・・・・・・・・４
(2)　四半期連結損益及び包括利益計算書・・・・・・・・・・・・６
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間　・・・・・・・・・・・・・・・６
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間　・・・・・・・・・・・・・・・７
(3)　継続企業の前提に関する注記　・・・・・・・・・・・・・・８
(4)　セグメント情報等　・・・・・・・・・・・・・・・８
(5)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記・・・・・・９

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1)　連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興関連需要に伴い徐々に回復の動きがあるものの、世界景気の減速等の影響もあり、以前として先行きの不透明な事業環境が継続しております。

このような状況のもと、当社グループの売上高は76億７百万円（前年同四半期比7.7%増）、営業利益は１億55百万円（前年同四半期比15.2%減）、経常利益は１億59百万円（前年同四半期比1.3%減）、四半期純利益は71百万円（前年同四半期比47.6%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

売上高においては、情報サービス事業はクラウドサービスを含めたデータセンター事業が大きく増加しており、また、人事給与、会計を中心としたプロダクト事業も回復して来ておりますが、主力のソフトウェア受託事業では首都圏、関西圏共に依然として足踏みが続いております。

その結果、売上高は51億16百万円（前年同四半期比12.5%増）となりました。

物流事業全体の売上高は24億91百万円（前年同四半期比1.0%減）となりました。

各事業の概況は次のとおりであります。

倉庫事業は、芝浦、大井、両倉庫の取扱いの伸び悩みと海貨業務と松戸配送業務の減少で、売上高は８億79百万円（前年同四半期比4.6%減）となりました。

港運事業は、建材埠頭でのスポット作業の獲得と骨材取扱の増加により、売上高は４億79百万円（前年同四半期比10.3%増）となりました。

陸運事業は、小麦粉輸送は堅調に推移したもののセメントは輸送体制整備の遅れで減収となり、売上高は11億33百万円（前年同四半期比2.3%減）となりました。

セグメント利益においては、情報サービス事業は、データセンターの増床に伴う設備投資や費用が増加しましたが、売上増加に伴う利益増で補うことが出来、セグメント利益は２億34百万円（前年同四半期比8.7%増）となりました。

また、物流事業は、倉庫事業が売上減少と賃借料等の増加により利益が減少したため、港運事業は利益の拡大、陸運事業は堅調な利益計上となったものの、セグメント利益は２億58百万円（前年同四半期比5.4%減）となりました。

(2)　連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末と比較して、総資産は５億87百万円、負債は５億52百万円、純資産は35百万円それぞれ増加いたしました。

総資産の主な変動要因は、現金及び預金の増加１億53百万円、仕掛品の増加４億１百万円、ＧＢＲ株式会社の全株式取得に伴うのれんの増加88百万円、建物及び構築物（純額）の増加１億73百万円、受取手形及び売掛金の減少４億73百万円などによるものであります。

負債の主な変動要因は、社債（私募債）の発行による増加３億円、長・短期借入金の増加２億58百万円などによるものであります。

純資産の主な変動要因は、四半期純利益の計上と配当金による利益剰余金の取り崩しによるものであります。

(3)　連結業績予想に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し業績予想の見直しを行った結果、平成24年10月30日公表の予想から大きな変動はないものの、売上高は97百万円増（前回公表比0.9%増）、営業利益は21百万円増（前回公表比5.6%増）、経常利益は31百万円増（前回公表比9.0%増）、当期純利益２百万円増（前回公表比1.4%増）と変更しております。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、第１四半期連結累計期間に、ＧＢＲ株式会社の全株式を取得したことにより、連結子会社に含めております。

(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3)　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社および連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	629,081	782,456
受取手形及び売掛金	1,744,047	1,270,260
商品及び製品	8,028	67,186
仕掛品	259,387	660,795
原材料及び貯蔵品	411	405
その他	157,888	202,543
貸倒引当金	△3,708	△3,122
流動資産合計	2,795,136	2,980,525
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,044,055	1,217,524
土地	2,489,232	2,489,232
その他（純額）	540,003	587,837
有形固定資産合計	4,073,291	4,294,594
無形固定資産		
のれん	－	88,711
その他	150,781	142,426
無形固定資産合計	150,781	231,137
投資その他の資産		
その他	640,121	727,449
貸倒引当金	△23,550	△17,674
投資その他の資産合計	616,571	709,775
固定資産合計	4,840,644	5,235,507
繰延資産	－	7,273
資産合計	7,635,780	8,223,307

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	540,367	663,381
短期借入金	1,744,700	1,947,303
未払法人税等	125,623	20,078
賞与引当金	279,232	154,234
受注損失引当金	3,557	405
その他	341,664	362,333
流動負債合計	3,035,146	3,147,736
固定負債		
社債	―	300,000
長期借入金	1,540,900	1,596,946
退職給付引当金	1,018,124	1,069,091
役員退職慰労引当金	7,465	10,728
その他	353,832	383,184
固定負債合計	2,920,322	3,359,949
負債合計	5,955,468	6,507,686
純資産の部		
株主資本		
資本金	765,000	765,000
資本剰余金	125,000	125,000
利益剰余金	645,696	682,034
自己株式	△36,426	△36,474
株主資本合計	1,499,270	1,535,559
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6,240	△7,221
土地再評価差額金	187,282	187,282
その他の包括利益累計額合計	181,041	180,061
純資産合計	1,680,312	1,715,620
負債純資産合計	7,635,780	8,223,307

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 (自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日)	当第３四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日)
売上高	7,064,240	7,607,902
売上原価	6,563,226	7,064,937
売上総利益	501,013	542,965
販売費及び一般管理費	318,151	387,864
営業利益	182,861	155,100
営業外収益		
受取利息	10	53
受取配当金	2,597	7,293
持分法による投資利益	－	3,632
受取賃貸料	15,678	15,136
その他	12,230	12,647
営業外収益合計	30,516	38,761
営業外費用		
支払利息	31,693	29,016
持分法による投資損失	9,663	－
その他	10,875	5,774
営業外費用合計	52,232	34,791
経常利益	161,145	159,070
特別利益		
固定資産売却益	－	7,102
投資有価証券売却益	9,088	－
特別利益合計	9,088	7,102
特別損失		
固定資産除却損	608	－
特別損失合計	608	－
税金等調整前四半期純利益	169,624	166,173
法人税等	120,918	94,295
少数株主損益調整前四半期純利益	48,706	71,877
四半期純利益	48,706	71,877

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第３四半期連結累計期間 (自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日)	当第３四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	48,706	71,877
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,196	△980
その他の包括利益合計	△7,196	△980
四半期包括利益	41,509	70,897
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	41,509	70,897

(3)　継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4)　セグメント情報等

【セグメント情報】

前第３四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	情報サービス事業	物流事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,548,514	2,515,725	7,064,240	－	7,064,240
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	4,000	4,000	△4,000	－
計	4,548,514	2,519,725	7,068,240	△4,000	7,064,240
セグメント利益	216,104	273,689	489,794	△306,932	182,861

（注）１ セグメント利益の調整額△306,932千円には、セグメント間取引消去△4,000千円、各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用△302,932千円が含まれております。

２ セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第３四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	情報サービス事業	物流事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,116,257	2,491,644	7,607,902	－	7,607,902
セグメント間の内部売上高又は振替高	927	1,178	2,105	△2,105	－
計	5,117,184	2,492,823	7,610,008	△2,105	7,607,902
セグメント利益	234,918	258,922	493,841	△338,740	155,100

（注）１ セグメント利益の調整額△338,740千円には、セグメント間取消消去△2,105千円、各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用△336,634千円が含まれております。

２ セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

第１四半期連結会計期間に、ＧＢＲ株式会社（報告セグメント：情報サービス事業）の全株式を取得し、のれんを計上しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、98,568千円であります。

また、当第３四半期連結累計期間におけるのれん償却費9,856千円であります。

(5)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。